



大町商店街にある、キッズスペース併設の
コワーキングスペース「MARUWWAニコメ」。
そこに集うママや働く人々が自分たちの
目線で見つけた、これから活躍しそうな
ヒト・モノ・コトなど身のまわりの新しい芽。
それが「ニコメ(二個目)のメ(目・芽)」です。
MARUWWAニコメ
〒017-0841 大館市字大町9
TEL:0186-59-5305
https://maruwwa.com/nicome/



こそだてコラム

【お話ししてくれた人】
助産院イスキア 助産師・IBCLC 菅原光子さん
090-6254-7673
産前産後の支援から性教育まで、幅広く活動しています。

2022年7月 子育てと貯蓄

わわわde子育てカフェで毎月開催しているおしゃべり会「わわわdeLALALA」では、紙おむつ代やミルク代など、お金の話題がよく出ます。こういう話題は、子育て真っ最中のお母さんから聞くと学びになり、それをもとに情報提供につなげることができます。

20数年前、私は子どもが産まれた時から“つもり貯金”を始めました。買ったつもりで、貯金をするのです。2人の子どもをほぼ布おむつで育て、おむつ外しには布パンツを使うことで紙おむつ代を貯金。離乳食は、大人の食事から取り分けて少しアレンジし、市販の離乳食を買わずに貯金。生後3か月から職場復帰したので、母乳を搾乳して保存し、ミルクを買わずに貯金。ある日、子どもを実家に預けたら、迎えに行くこと丸坊主に！（笑）それ以来、子どものヘアカットは実家で済ませて、床屋に行ったつもり貯金。子どもたちが1歳から18歳になるまで、毎月1人あたり3000円ずつ、子ども

の預金通帳に入れ続けました。子どもが成長するにつれて支出は増え、うちの場合は、子どもたちが大学進学したら貯蓄したお金では賅えず、私の給料がほぼ仕送りでした（笑）。今の館市には、赤ちゃんが産まれると商品券がもらえる「はちくんすくすく子育て支援事業」や、産後のお母さんを訪問する「産後ケア」が市の補助で500円で受けられるなど、金銭的な支援も充実してきています。今必要なお金と、将来を見据えた貯蓄を考え、お財布の中でいろいろやりくりしてみてくださいね。



イラスト：さわたのりこ

今月のメダマ 輝くあの人にインタビュー

アートから広がる笑顔の輪

チミツアート作家 眞鍋舞さん

眞鍋舞さんは、鹿角市を拠点に「チミツアート」作家として活動を行っています。チミツアートは、主に小さな丸や点・線を繰り返して一つの絵を作り上げる、まさに緻密な手作業。「3～4年前に独学で描き始めました。紙と1色のペンだけを使うシンプルな方法が自分に合っていたようで、ずっと書き続けても飽きないんです」と舞さん。手のひらサイズの作品なら1～2時間、模造紙などの大きいものは20日ほどかかる時もあるそうです。



舞さんは香川県高松市出身。夫の雄次さんが鹿角市地域おこし協力隊に就任したことを機に2020年、家族で鹿角市に移住しました。「いつも近所の方々からたくさんお裾分けをいただきます。秋田に来るまで食べたことがなかったものも多く、調理方法を教わりながら秋田の味覚を楽しんでいます。2人の子どもたち



ご近所さんからいただいたひょうたんアート

も、家に学校の友達を呼んだり、休日は自然の中で遊んだり、とこの生活を楽しんでいるようです」と、鹿角暮らしを満喫しているそう。

昨年4月には初の展示会を十和田図書館で開催しました。

「ご近所さんや、温泉仲間をはじめ、たくさんの方が見に来てくださって、この展示会が新しいご縁へとつながるきっかけにもなりました」と舞さん。今年

は「ワイナリーこのはな」のシャペトルシリーズの中の1本、「シードルフジ」のラベルイラストを手がけたり、アルコールインクアートとのコラボレーションを行うなど、更に活動の幅を広げています。

制作活動の傍ら、自治会・お寺での講座や、台湾のオンライン講座を開催しており、「線がはみ出てもつながりなくとも全部味になるので大丈夫です。同じ図案でもみなさん違う絵に仕上がるのも魅力の一つ」とチミツアートの面白さを語ります。「これからも、やってみて楽しいこと、好きなものをもっと突き詰めていきたい。台湾での個展もやってみたいです」と目をキラキラさせて話してくれた舞さんの作品は、Instagramでも見るすることができますよ。

Instagram @mairu_chimitsu_art



十和田図書館で行われた展示会



定期的にお寺で開催している講座の様子

北鹿ネコつながり



松村レンコンくん
ハクサイくん
(鹿角市)
やんちゃなオス猫兄弟です。

わわわ-de 子育てカフェ からのお知らせ

7月もイベント盛りだくさん。大人向け講座もごぞいます！

住所:大館市大町9
MARUWWA ニコメ1F
専用駐車場あり



まんま処 オランホ

本場の横手焼きそば、ヘルシーでおいしいパスタ、お惣菜やスープのテイクアウトなど♪毎月1回出店。詳しくは「わわわ de 子育てカフェ」のInstagramグラムにて！



雑貨屋 zette

8月末まで期間限定OPEN。お菓子や調味料、食器やブローチなど、小さいスペースだからこそぎゅぎゅっと選りすぐり商品を集めました。



来年へつなぐ『十ノ瀬 藤の郷』

入園料の有料化と駐車場の予約制という新たな試みとともに開園した今年の十ノ瀬藤の郷。来園者数が分散化されたことで、毎年の課題となっていた近隣道路の渋滞やトラブルも発生することなく、閉園までの14日間で5000人以上の方にご来園いただくことができました。自然溢れる静かな集落の中での観光地運営は、近隣に暮らす方々のあたたかなご協力の元に成り立っています。今後も皆様に楽しんでいただけるよう、試行錯誤を重ねていきます。

今年は天候にも恵まれた日が多く、二週目は連日関西からのツアー団体客が訪れるなど、本当にさまざまな方が藤の花の美しさやにおいを楽しんでいる姿を見ることができました。また、新たに制作し入園券と一緒に販売した写真集(1,000円/税込)にもご好評の声を多くいただいています。皆様のご理解とご協力に、改めて心からの感謝を申し上げます。

花の見頃はあつという間ですが、木の手入れはその後年間を通して行われます。6月中旬には有志のボランティアとともに花摘み作業を行いました。来年も綺麗な花を咲かせてくれることを願いながら、役目を終えた花がらをひとつひとつ手作業で摘んでいく作業は、藤の木たちをよりいっそう愛おしく感じさせてくれました。今後も伸びたツルの剪定や間引きなど、藤の木の管理に通年で関わりながら来年の開園に備えていきます。

十ノ瀬藤の郷2022写真集など
グッズ販売中！

【十ノ瀬藤の郷 公式サイト/オンラインショップ】
https://tonose-fujinosato.com

